

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 株式会社 SANKYO

上場取引所 東

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 筒井 公久

TEL 03-5778-7777(代)

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	87,019	89.1	19,556	112.6	21,303	102.3	13,254	101.0
21年3月期第1四半期	46,019	—	9,197	—	10,531	—	6,595	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
22年3月期第1四半期	137.68		—	
21年3月期第1四半期	67.85		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第1四半期	463,958		392,511		84.6		4,077.06	
21年3月期	494,866		386,187		78.0		4,011.37	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 392,511百万円 21年3月期 386,187百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	135,000	19.3	33,000	32.2	34,500	24.7	20,500	18.9	212.94
通期	270,000	43.7	67,000	64.9	70,000	55.9	42,000	50.6	436.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 97,597,500株 21年3月期 97,597,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,324,366株 21年3月期 1,324,326株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 96,273,140株 21年3月期第1四半期 97,208,081株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の悪化が続いており、金融市場の変動などが景気を下押しするリスクも依然として拭えない一方で、在庫調整の進展や、定額給付金・エコポイント制度・エコカー減税などの政策が消費マインドを刺激するなど、低水準ながら持ち直しの動きも見られ始めました。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、大手パチンコパーラー企業において収益性の大幅な改善が見られたものの、パチンコパーラー間における集客競争は依然激しい状況にあります。このような環境下において、当社グループの顧客であるパチンコパーラーは、長期の人気が見込める大型タイトルあるいは固定ファンが見込める個性的な商品を厳しく選別する動きを強めております。

一方で、パチンコ・パチスロをもっと手軽に楽しみたいという潜在的なニーズに対し、プレイ代金を通常より低く抑えた低貸玉営業が半数近くのパチンコパーラーで導入され人気を集めております。パチンコ・パチスロがより身近な娯楽として認知されることで、休眠層や新規ファンの獲得に成功している事例も見受けられ、不況下にあってもファン人口増加に向けた取り組みに一定の成果が表れるなど明るい兆しも見られました。

パチンコ機・パチスロ機の出荷マーケットにつきましては、パチンコ機の設置台数が増加傾向にあり、出荷台数は比較的堅調に推移しております。これに対しパチスロ機に関しましては、設置台数が依然減少傾向にあり、出荷台数にも回復の兆しが見られないなど厳しい状況にあります。

当社グループにおきましては、主力のパチンコ機において、著名コンテンツとのタイアップなどにより付加価値を高めた大型タイトルの創出に注力する一方で、大当たり確率や払い出し玉数といったスペックに工夫を凝らし、コストパフォーマンスを重視した商品開発にも積極的に取り組んでおり、多様化するパチンコパーラー、ファンのニーズに対応していく方向性を打ち出しております。

当第1四半期におきましては、需要が堅調なパチンコ機の販売に経営資源を集中し、B i s t yブランドにおいて当社グループのキラーコンテンツである「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズの続編を投入するとともに、SANKYOブランドにおいて第2四半期に投入予定の大型タイトル「KODA KUMI FEVER LIVE IN HALL II」のプロモーション活動を積極的に展開し受注活動を開始しております。

この結果、当第1四半期の連結売上高は870億円（前年同四半期比89.1%増）、連結営業利益は195億円（同112.6%増）、連結経常利益は213億円（同102.3%増）、連結四半期純利益は132億円（同101.0%増）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

（パチンコ機関連事業）

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで2シリーズ、B i s t yブランドで1シリーズの販売を行い、B i s t yブランド「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズの第5弾「最後のシ者」（平成21年4月）がシリーズ過去最高となる235千台の販売成績を収めました。同シリーズは平成16年の第1弾発表以降、シリーズを重ねるごとに販売台数を伸ばしており、パチンコパーラーの主力商品としてパチンコファンから圧倒的な支持を得ております。また、パチンコでのヒットをきっかけに原作アニメの再ブームが巻き起こり、TV放映が終了して13年が経過した今もなお、新作映画の公開や関連グッズの発売が相次ぐなど、パチンコとコンテンツの相乗効果の大きな可能性を示しました。

上記主力商品を中心とした販売の結果、売上高は790億円（前年同四半期比165.7%増）、営業利益は205億円

(同158.4%増)、販売台数264千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業は、販売マーケットが低水準で推移しており、一部の人気タイトルを除く多くの商品が少ロットの販売を余儀なくされるなど厳しい状況が続いております。当社グループにおきましては、SANKYOブランド、B i s t yブランドともに1シリーズの販売を行いました。パチンコ機の販売に経営資源を集中した結果、パチスロ機の販売台数は17千台にとどまり、売上高は32億円（前年同四半期比72.7%減）、営業損失は90百万円となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高43億円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益47百万円（同16.3%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、売上高3億円（前年同四半期比5.6%減）、営業利益1億円（同33.8%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末の総資産は4,639億円であり、前連結会計年度末と比べ309億円減少しました。これは主に現金及び預金が74億円、商品及び製品が192億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は714億円であり、前連結会計年度末と比べ372億円減少しております。これは主に支払手形及び買掛金が257億円、未払法人税等が109億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ63億円増加しました。これは四半期純利益を132億円計上した一方、主に配当金の支払い72億円によるものであります。この結果、純資産は3,925億円となり、自己資本比率は6.6ポイント増加し、84.6%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月13日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用しております。

なお、当第1四半期連結会計期間に関しては、工期がごく短いため工事進行基準に該当する工事契約はなく、すべての工事について工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	155,078	162,510
受取手形及び売掛金	53,960	40,027
有価証券	91,004	89,999
商品及び製品	3,092	22,319
仕掛品	1,228	145
原材料及び貯蔵品	2,911	3,694
その他	18,343	43,392
貸倒引当金	△339	△425
流動資産合計	325,279	361,665
固定資産		
有形固定資産	51,494	49,892
無形固定資産	236	249
投資その他の資産		
投資有価証券	81,570	79,157
その他	6,160	4,740
貸倒引当金	△403	△459
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	86,947	83,059
固定資産合計	138,679	133,201
資産合計	463,958	494,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,374	72,077
未払法人税等	2,253	13,179
賞与引当金	1,256	752
その他	16,342	17,516
流動負債合計	66,226	103,525
固定負債		
役員退職慰労引当金	600	584
退職給付引当金	2,770	2,683
その他	1,849	1,886
固定負債合計	5,220	5,154
負債合計	71,447	108,679

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,882	23,882
利益剰余金	361,820	355,800
自己株式	△8,940	△8,940
株主資本合計	391,602	385,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	908	604
評価・換算差額等合計	908	604
純資産合計	392,511	386,187
負債純資産合計	463,958	494,866

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	46,019	87,019
売上原価	22,591	45,752
売上総利益	23,428	41,267
販売費及び一般管理費	14,231	21,710
営業利益	9,197	19,556
営業外収益		
受取利息	504	451
受取配当金	164	48
持分法による投資利益	503	1,108
その他	201	146
営業外収益合計	1,374	1,753
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	38	7
営業外費用合計	39	7
経常利益	10,531	21,303
特別利益		
貸倒引当金戻入額	59	140
特別利益合計	59	140
特別損失		
固定資産廃棄損	12	17
その他	1	—
特別損失合計	14	17
税金等調整前四半期純利益	10,577	21,426
法人税、住民税及び事業税	2,976	2,294
法人税等調整額	1,004	5,877
法人税等合計	3,981	8,171
四半期純利益	6,595	13,254

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,577	21,426
減価償却費	856	950
引当金の増減額 (△は減少)	△213	465
受取利息及び受取配当金	△669	△499
支払利息	1	0
持分法による投資損益 (△は益)	△503	△1,108
売上債権の増減額 (△は増加)	26,381	△13,932
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,734	18,919
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,898	△25,702
その他	13,571	18,201
小計	6,367	18,720
利息及び配当金の受取額	845	658
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△20,618	△12,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,406	6,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△763	△2,948
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	0
有価証券の償還による収入	1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△8,005	△11,034
投資有価証券の償還による収入	8,000	8,000
貸付けによる支出	△200	△1,806
貸付金の回収による収入	5	15
その他	10	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	47	△7,782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25	△21
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△7,335	△0
配当金の支払額	△9,746	△7,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,107	△7,256
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,466	△8,430
現金及び現金同等物の期首残高	226,329	218,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	195,862	210,078

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	パチンコ機 関連事業 (百万円)	パチスロ機 関連事業 (百万円)	補給機器 関連事業 (百万円)	その他 の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	29,748	11,759	4,091	420	46,019	—	46,019
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	—	1	(1)	—
計	29,749	11,759	4,091	420	46,021	(1)	46,019
営業利益	7,959	4,238	40	82	12,320	(3,123)	9,197

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	パチンコ機 関連事業 (百万円)	パチスロ機 関連事業 (百万円)	補給機器 関連事業 (百万円)	その他 の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	79,045	3,212	4,366	394	87,019	—	87,019
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	—	—	2	13	(13)	—
計	79,057	3,212	4,366	396	87,033	(13)	87,019
営業利益又は営業損失(△)	20,568	△90	47	110	20,635	(1,078)	19,556

(注) 1 事業区分の方法は販売品目系統によって区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機関連事業 ……パチンコ機、パチンコ機ゲーヂ盤、関連部品及びパチンコ機関連ロイヤリティ収入
- (2) パチスロ機関連事業 ……パチスロ機、パロット機、関連部品及びパチスロ機関連ロイヤリティ収入
- (3) 補給機器関連事業 ……パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器及び補給機器関連ロイヤリティ収入
- (4) その他の事業 ……不動産賃貸収入、一般成形部品等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。